



の領土問題になっていること程度の知識しかなく、竹島の位置や大きさ、隠岐の島との関係など具体的には全くわかりませんでした。そこで、竹島について詳しい地域の方に竹島と隠岐島民、特に五箇村の人々との関わりについて学ぶ機会があり話を聞いてみました。

竹島は、日本海に浮かぶ隠岐の島と韓国の鬱陵島の間に位置するとても小さな岩島で、大きな二つの島とその他の小島からなり総面積は三二・一ヘクタールです。僕たちの住む隠岐の島からは約百五十キロメートル離れており、高速船レインボーで行けばおよそ二時間でいけるとも近い島であるということがわかりました。隣の鬱陵島とはおよそ八十キロメートルの距離があり、この島は大きな島で、明治時代には日本人が材木を切る仕事に従事していたようです。さらに驚かされたのは、私たちの住む五箇村の久見には鬱陵島の小

学校を卒業したというおばあさんがまだ健在であるということでした。

竹島について日本から見た歴史を見てみると二五〇〇年代に米子の人が越後からの帰り漂流、発見したことがはじまりであると伝えられています。その後、江戸時代以降、たくさんの人々が竹島や鬱陵島へ渡航し、漁業等を営んでいたこともわかりました。また、現在は竹島という名前になつていますが、年代によっては様々な名前で呼ばれていたということでした。しかし、特に私が興味を持ったのは、竹島と五箇村をはじめ隠岐の人々との関わりでした。年表を見ると明治の頃から五箇村久見、西郷町中村の人々が盛んに竹島を訪れていました。特に驚いたのは、アワビやサザエをとるカナギ漁やイカ漁をはじめとする魚介類の漁だけでなく、ほ乳類のアシカ猟を行っていたことでした。多いときには千六百頭ものアシカを捕獲していたという事実には話を聞いている生徒全員がとても驚いていました。アシカについて調べてみるとトドやオットセイの仲間である保護動物であるということがわかりました。当時の人々は、このアシカの毛皮や肉、脂肪などをさまざまな形で利用していたようです。そして、このアシカを竹島から生きてきたまま持つて帰る方法を考え出したのが五箇村の人々だったそうです。現在のよ

めて感じました。また、久見トンネル近くの橋の高欄には日本アシカの像が彫られています。アシカ猟を通じて、五箇村と竹島の深い関係を示すものであることがよくわかります。

しかし残念なことに竹島周辺に生息していたアシカは、乱獲が原因かどうかはわかりませんが、絶滅したといわれています。もちろん五箇村の人たちだけがアシカ猟をしていたわけではないと思いますが、当時の人々にとっては生きるために大切な資源であったのだと想像はできません。しかし、豊かになつた現在では、この事実を学び二度と人間の手によつて自然環境が壊されることはさげなければならぬと強く感じました。

今竹島は、昭和二十七年の李大統領の宣言以来、昭和四十年の平和条約以降も日本と韓国との意見の違いにより未解決の領土問題として現在に至っています。ただ、日本側から見ると竹島は、韓国側の一方的な主張で占有されており、日本の船が近づけない現状であることはわかります。私たち中学生は、竹島が日本のものであると韓国のものであるということはいえません。ただ、民族の違いはあれ同じ地球に住む人間です。本来ならば国境も領海も排他的経済水域もなくみんなが協力して生活していくのが一番だと思いません。しかしそれはできないことであることもよくわかります。日本と韓国は、海を挟んだ隣国の関係です。昨年開催されたワールドカップを両国協力して成功させたときのように今後もお互いに認め合い協力しあっていくことがとても大切なこ

とだと思えます。この竹島問題についてもお互いが平和的解決を見いだし、明るい未来になっていくことを私たちは望んでいます。そしていつか、私たちの祖先が行き来していた竹島へ行つてみたいと思えます。

最後に竹島についての話を聞いた五箇中学校生徒の感想をいくつか紹介して終わりにします。

【感想一】

僕のひいおじいさんも竹島へ漁に行ったことがあると聞いています。竹島は、昔は豊かな島だったと思います。ニホンアシカが絶滅したのは少し残念だと思いました。一度竹島には行つてみたいと思いました。

【感想二】

竹島は、いろいろな名前に変つたりしていたことなどがわかりやすく勉強になりました。アシカを千六百頭捕獲したとか、アワビを千二百貫とったなどたくさん資源があったこともわかりました。竹島には、昔から五箇村をはじめ日本のさまざまな人が関わつていて、現在もその歴史が語り継がれていることもあり、自分たちも竹島のことをもっと身近に感じ、将来竹島に行けるよう隠岐の人として協力していきたいと思えます。

【感想三】

竹島は、写真も何も見たことがないし、巨大アワビがとれるなど確信の持てない情報ばかりで未

県内での  
広報啓発



県庁前庭の電光掲示板



七類港、隠岐汽船乗りの看板



五箇村「くめじ橋」の親柱



五箇村久見漁港の看板



西郷町内広告塔